一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会
2020年度第1回理事会議事録

開催日時：　2021年5月15日（土）　15 ： 00より17 ： 00
開催場所：　ステーションコンファレンス東京　「402C+D」会議室
（東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー）
※WEB会議システムを用いての開催

開催場所出席理事：赤間　高雄　増島　　篤　松本　秀男　山澤　文裕

WEB出席理事　　：大森　　豪　奥脇　　透　勝川　史憲　木村　　穣　島田　和典
田島　文博　帖佐　悦男　津下　一代　鳥居　　俊　中川　泰彰
馬場　礼三　細井　雅之　牧田　　茂　松田　貴雄　水田　博志
宗田　　大　山下　敏彦　吉矢　晋一

WEB出席監事　：　永富　良一　原　邦夫
議事録作成者　：　松本　秀男
議　　長　：　　山澤　文裕

上記のとおり出席があり、本理事会は有効に成立したので、山澤文裕は議長となり本理事会がテレビ会議システムを用いて開催する旨を宣した。
当テレビ会議システムは、出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認され、議案の審議に入った。
テレビ会議システムは終始異常なく作動し、議長は17時00分に本日の議事を終了したことを宣し閉会した。
議案及び決議事項は以下のとおりである。

議事の経過の要領及びその結果
（１）議長選任
理事長（代表理事）松本　秀男は、開会に当たり、議長として理事 山澤　文裕を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

（２）定足数の確認
議長は本日の出席が理事22名であり、理事総数23名中22名の出席を得て、定款35条

第１項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

（３）議案の審議状況及び議決結果等

審議事項

第１号議案　2020 年度　理事選挙について

議長は、2020 年度理事選挙についてスケジュールおよびそれに関する定款や規則について確認した。選挙管理委員会について、理事長の推薦した増島　篤委員長および選任した構成委員が満場異議なく承認された。理事会終了後開催の選挙管理委員会にて詳細を決定することとする。

第２号議案　名誉会員候補について

議長は、理事長が推薦した増島　篤先生および飛松　好子先生について承認を求めたところ、満場異議なく承認された。定時総会にて承認いただくこととする。

第３号議案　総務委員会　正会員の登録診療科目について

議長は、現在、当学会の会員ページを作成している段階で専門医機構での分類を参考に作成した独自の３層に分けた正会員の登録診療科目について提案し、一部修正、追記の要望を受け、承認された。

第４号議案　倫理審査準備小委員会より

倫理審査準備小委員会委員長　理事　牧田　茂より、小委員会での倫理審査委員会の設置にむけての準備状況について、説明があった。設置の前提となる、「将来的に『演題応募や論文投稿の際には、症例報告などを除き、事前に倫理審査委員会での審査と、それに基づく施設長の許可を得ていることを必須とする。』」および、教育啓発のための「全会員を対象として、研究倫理に関する教育講演受講ならびにそれに相当する研修を義務化することの提案」について、承認された。倫理審査委員会での審査は論文投稿を始めとしていく方向とする。

第５号議案　資格審査委員会　准会員の入会資格および学生会員制度について

資格審査委員会委員長　理事　宗田　大より准会員の入会資格についての改定案が提示され、承認された。これまでは、医療関係の国家資格としては理学療法士および看護師が入会資格とされてきたが、医療関係の国家資格を持っていれば入会できるようにして

いく。

また、大学生等の学生が学術集会での発表を筆頭演者として行う際に、入会資格のその他の基準（会員の共同研究者）にて准会員として認めてきた経緯があり、学生会員制度を新たに設けることの提案があり、承認された。それに伴う定款の変更案も承認されたので、定時総会にて承認をいただくこととする。

報告事項

2020 年度中間報告

1. 2020 年度学会員数中間報告

議長は資料に基づき 2020 年 10 月 1 日から 2021 年 5 月 8 日までの学会員数について報告した。正会員が微減となっている。年会費未納者は例年通りの数であるが、7 月に事務局より再請求をすることとする。

2. 2020 年度中間収支報告

議長の指名により財務委員長　理事　吉矢　晋一は資料に基づき 2020 年 10 月 1 日から 2021 年 5 月 8 日までの収支について報告した。ほぼ予定通りの収入となっており、新型コロナウィルスの影響により支出は少なくなる可能性がある。

各委員会審議・報告事項

1. 編集委員会

・ 学会誌投稿状況について

編集委員会委員長　理事　勝川　史憲は、2018 年度、2019 年度および 2020 年度 4 月 15 日までの各年度投稿総数と査読状況について報告した。2020 年度の投稿数は、ほぼ例年通りである。

・ 第 31 回学術集会依頼原稿論文状況について

編集委員会委員長　理事　勝川　史憲は、資料に基づき寄稿状況について報告した。29 巻 2 号に掲載された論文がいくつかあり、残りの論文を 29 巻 3 号に掲載予定である。

・ オンライン投稿・査読システム・進行状況

編集委員会委員長　理事　勝川　史憲より、オンライン投稿・査読システムの構築の進行状況について説明があった。次年度（2021 年度）の投稿より、オンライン投稿・査読システムを稼

働させるべく準備を進めていることが報告された。

・ 投稿規定改定案

編集委員会委員長　理事　勝川　史憲より、投稿規定の改定についての提案があった。倫理指針の改定によるものとオンライン投稿システムが稼働することに関することについての改定であり、承認された。定時総会にて承認を頂くこととする。

2. 学術委員会

・ 2020 年度各部会中間報告

学術委員会委員長　理事　増島　篤は、競技スポーツ部会および健康スポーツ部会についての活動報告を行った。各部会とも小委員会をいくつか設けて活動をしている。それぞれの部会の活動報告は 11 月の学術集会にてパネル展示を行う予定である。

・ 日本アスレティックトレーニング学会との合同提言「スポーツ現場における外傷・障害調査手法の標準化」の進捗状況について

学術委員会委員長　理事　増島　篤は、日本アスレティックトレーニング学会との提言書作成の合同プロジェクトの進捗状況について説明した。11 月の学術集会までに提言をまとめ、発表の予定である。

・ COVID-19 罹患後のスポーツ復帰指針について

理事　山澤　文裕および理事　島田　和典は、資料に基づき、COVID-19 罹患後のスポーツ復帰指針を作成したことを報告した。循環器系評価の留意点について、理事より指摘のあった内容について修正をすることも含め、対応を検討することとする。

3. 資格審査委員会

・ 准会員資格審査結果

資格審査委員長　理事　宗田　大は、資料に基づき 2020 年 10 月 1 日～2021 年 5 月 10 日にかけての准会員資格審査の対象となった 34 件について報告した。全 34 件全て入会を了承された。

・ 准会員から正会員への資格申請　審査結果について

資格審査委員長　理事　宗田　大は、2月に准会員から正会員への申請が3名あり、確認した。帝京平成大学　吉本　真純　准会員、筑波大学　柴田　聡　准会員および筑波大学　鈴木　啓太　准会員について資格審査委員全員から承認を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

4.　倫理・COI 委員会

・「日本医学会　COI 管理ガイドライン　2020(Digest 版)」について

倫理・COI 委員会委員長　理事　牧田　茂より、日本医学会 COI 管理ガイドラインの2020(Digest 版)が発表されたので、本学会でも改定するべき点があれば、改定作業を進めていくこととすることが報告された。

5.　オリンピック・パラリンピック等準備委員会

・活動報告

オリンピック・パラリンピック等準備委員会委員長　理事　赤間 高雄は資料に基づき、メディカルスタッフの推薦や、大会中の選手村シンポジウム(web 開催)の企画や協力を行っている等の報告を行った。

AC2020 からの各参加学会がオリンピックに関連して作成した制作物を 1 つの冊子に纏めることの構想に関して、本学会が作成した国際競技大会における FOP(Field of Play)メディカルマニュアルを入れて良いかとの提案が理事　山澤　文裕よりあり、承認された。

6.　広報委員会

・活動報告

広報委員会委員長　理事　島田　和典より、会員専用ページについて、編集委員会と連携を取りながら構築中との報告があった。システム構築が終了次第、確認を頂くこととする。

7.　国際委員会

・活動報告

国際委員会委員長　理事　松本　秀男より、AMSSM および韓国とのトラベリングフェローが新型コロナウィルスの感染拡大により中止となったこと、AMSSM との Gender bias in sports medicine の共同研究でのアンケートがまとまり論文投稿中であること、2021 年 11 月の学術集会にて AMSSM 理事で国際委員長の Carly Day 先生の招待講演を予定していること、以

上の 3 点の報告があった。

8.　教育研修委員会

・活動報告

教育研修委員会委員長　理事　大森　豪より、教育研修制度の研修システムをすでに構築している日本整形外科スポーツ医学会と連携を取って進めていること、今後は臨床スポーツ医学会としての提案事項を基に日本整形外科スポーツ医学会と協議を進めていくこと、以上について報告があった。

その他

・ トレーナー制度検討委員会について

理事長　松本　秀男より、日本のトレーナー制度が本邦ではまだ構築が進んでいないため、日本アスレティックトレーニング学会と連携し、合同プロジェクトチームにて新たな専門制度資格創設の合同提言を作成していくことについての提案があり、承認された。

・ 女性アスリートを取り巻く健康問題やサポート体制に関するアンケートについて

理事長　松本　秀男より、東京大学医学部産婦人科教室より「女性アスリートのエネルギーバランスと月経に関する国際アンケート調査」を合同で実施したいとの提案があったことが報告され、実施について承認された。

・ 第 32 回学術集会進捗状況について

理事　赤間　高雄は、第 32 回学術集会を 2021 年 11 月 13 日（土）、14 日（日）の 2 日間、早稲田大学早稲田キャンパスにおいて開催すること、および一般演題募集が開始していることを報告した。現時点ではオンサイトにて開催予定だが、新型コロナウィルスの感染状況によってはオンラインにての開催も検討する。

・ JADA との協定書締結について

理事　赤間　高雄は、JADA に第 32 回学術集会のシンポジウムの企画等をお願いした際に当学会と JADA との連携および協力に関する協定の締結をしたいとの提案を受けたので、締結の提案があり、承認された。学術集会にて協定書の調印式を行う予定である。

・ 第 33 回学術集会　第 34 回学術集会予定について

理事　山下　敏彦は、第 33 回学術集会を 2022 年 11 月 12 日（土）、13 日（日）の 2 日間、ロイトン札幌および札幌プリンスホテルにおいて開催する旨を報告した。続いて理事　勝川　史憲は、第 34 回学術集会を 2023 年 11 月 11 日（土）、12 日（日）の 2 日間、パシフィコ横浜ノースにおいて開催予定である旨を報告した。

・ Sport in Life コンソーシアム総会出席報告

理事　増島　篤より、3 月 12 日にオンラインにて開催された総会の出席報告があった。現在第２期のスポーツ基本計画期間中であるが、成人の週 1 回の運動実施率を 65％以上に向上させていくことを目標に取り組みが行われている。これから第 3 期基本計画における目標設定をしていくことになるが、健康とスポーツとの関連のエビデンスから提案していくことも必要である。

・ 「2021 年版　心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン」について

理事　牧田　茂は、日本循環器学会と日本心臓リハビリテーション学会の合同ガイドラインについて、3 月末に９年ぶりの全面改定版が日本循環器学会 HP 上で公開されたことが、報告された。当学会員である牧田委員、木村理事、島田委員、礒代議員が代表班員としてガイドライン作成に協力してきた。

・ 次回理事会日程について

学術集会前日の 2021 年 11 月 12 日に早稲田大学早稲田キャンパス等の学術集会会場にて 15 時から開催予定。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、閉会を議長は宣した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第 36 条第 2 項の規定により以下に記名押印する。

2021 年 5 月 15 日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

	理事長	松本　秀男	代表印
議長	副理事長	山澤　文裕	㊞
	監　事	原　　邦夫	㊞
	監　事	永富　良一	㊞